

保護者のための情報モラル教育啓発教材

文部科学省では、児童生徒を取り巻く情報化の進展に対応すべく、児童生徒に対してはもとより、家庭や地域等を対象に情報モラルに関する指導・啓発を行うため、保護者向けの動画教材等を作成しました。

本教材の構成

- 動画教材 ●スライド資料
- パンフレット ●講義ガイド

本教材は、文部科学省ホームページにも掲載しています。PTAの集会等、保護者の方を対象とした様々な場で活用いただき、情報モラル教育の重要性を理解していただくとともに、家庭教育に生かしていただける内容としています。

動画教材の内容は、とある家庭の日常ドラマとしました。このドラマをきっかけに、問題点や疑問点を参加者同士で話し合ったり、スライド資料を用いて説明したりといった活用ができます。

また、スライド資料には講師用の説明文を掲載しており、講義ガイドと一緒に活用することで、様々な方がすぐ利用できるようになっています。



動画 A「はじめが大切」

父母と、長女ゆうなさん、次女はるなさん、弟ひろとさんの5人家族。
次女のはるなさんが中学校進学を前に、スマートフォンの購入をお母さんをお願いしています。「みんなスマホ買ってもらっているんだよ。」
そしてスマートフォンの購入後の家族の様子。自分のしていることに夢中になり、家族全員がリビングにいるのに、会話がなく、ただいるだけという状態に。しっかり者の長女ゆうなさんは、何か言いたげです。

【スライド資料の内容】

- ・スマートフォンの所有率 ・親子のコミュニケーション



動画 B「知らなかったではすまされない」

ゲーム機でホームページを見ている弟のひろとさん。ゲーム機でホームページが見られることに母はびっくり。次の日、ママ友と会話する母は、インターネットの利用には様々な危険もあることを知り、「なんかすごく不安になってきた…」と一言。

【スライド資料の内容】

- ・ゲーム機のインターネット利用とペアレンタルコントロール ・ゲームのレーティング（年齢制限）
- ・SNSの情報発信の危険性 ・フィルタリング ・インターネットの利用に関する問題とトラブル



動画 C「家庭のルール」

次女のはるなさんが中学校に進学したことで、交友関係や生活リズムが変わったのに、ルールを見直さずに押し付けていた母。はるなさんは母とけんかをして部屋を出て行ってしまいました。母は長女のゆうなさんに相談を持ちかけます。

長女のゆうなさんは話し合うこと、ルールを見直すことの大切さを母に伝えています。夜、夫と話す母。ルールの大切さをしみじみ感じたようです。

【スライド資料の内容】

- ・インターネットから子供を守るために必要なこと ・家庭のルール作りのポイント
- ・大人の意識や保護者の連携 ・成長や生活リズムに合わせたルールの見直し



文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm

